

新幹線情報

2009年11月21日
第4号

JR東海労新幹線地本

フラッパーゲートはだれのためにあるの？ 今まで、庁舎に怪しい人、来た事とあるの？

各運輸所分会・地区分会の皆さん、今東京の車両所では（交検車両所・修繕車両所・仕業車両所）総合庁舎の出入り口にセキュリティの名の下にフラッパーゲートと言うものが11月より導入されました。それは、駅の改札にあるゲートと同じでICカード（社員出入り証）をゲートの読み取り器にタッチして庁舎に入っていくようになったのです。しかも、品川駅の通勤バスの中にもICカード読み取り器が設置されていて、乗車する時に社員出入り証をバス運転士に見せながら読み取り器にタッチし「ピピ」となれば乗車できるという事なのです。しかし、その出入り証は本人の顔写真が載っている出入り証であり、なぜここまでして厳重に社員の出入りをチェックするのでしょうか？ 庁舎にフラッパーゲートがあるのならバスは今まで通り出入り証を見せるだけでいいと思いますが、2重のチェックは何のためでしょうか？

今まで庁舎に不審者が侵入したことあるの？「アッ」ありました。旧東京第二車両所の時代、知る人ぞ知るあの有名な元大山所長時代に、「ワゴン車」が突っ込んできて、しかも東二両庁舎を誤って列車の庁舎の玄関に突っ込みメチャクチャし「大山」を出せと男が侵入してきたのです。その後あの事件はどうなったのでしょうか・・・？

また、警備の一寸した隙を「自転車に乗った人」が旧東一両から旧東二両の着発にまで行った事ぐらいだと思いますが。その時は出入り口門において警備の強化で門を閉じるようになりましたが、フラッパーゲートを設置する事はなかったのです。なぜ、この次期に設置したのでしょうか？

そしてJR社員は制服で通過できるが関連会社の社員は制服を着ていても通過できず、守衛のところでそのつど名前を記入するかICカードをタッチして入るのです。

フラッパーより、要員を増やし車両所・運輸所の年休取得を確保せよ！

会社は、フラッパーゲートを導入することによって、警備員の増強も行っているのです。車両所の要員は削減・運転所の乗務員も足りなくて年休は取れず、その上、休日出勤も強要されている、そんな中警備員を増強しフラッパーゲートを設置するという会社は何を考えているのでしょうか？ リニアに投資するお金があるくらいだから、フラッパーゲートなどは朝飯前なのでしょうが。そんなことより、車両所・運輸所の要員を確保して、社員の健康・安全の為に会社は努力するのが当然の事だと思います。なぜなら、私達社員がどんな時も汗して働いているから会社は儲かっているのだから・・・！

車両所は7月以降、3車両所になりましたが、各社員の連絡体制は、当日体調が悪く出勤できない時など各所属車両所に連絡するのではなく、仕業車両所に全て連絡をするそうです。どうしてでしょう？？？車両所の皆さん・運輸所分会・地区分会の皆さんはこのことに対し何かありましたら意見をお聞かせください。次回に続くよ！